

## はじめに

奈良県では、健康寿命（日常的に介護を必要とせず、健康で自立した生活ができる期間）を、今後10年間で男女とも日本一にすることを目指しています。

このためには、健康づくりを始め、医療、介護、福祉等の関連施策を総合的・統一的に推進する必要があるとあり、各分野別に策定された個別計画に横串を刺す形での上位計画として「なら健康長寿基本計画」を策定いたしました。

この計画の特徴は、データを活用し、科学的根拠に基づく施策を推進することにあります。このため、本計画では、健康寿命の延長に密接に関係する健康行動やその成果等の指標を重点健康指標として設定しました。そして、これらの指標を定期的に把握・分析し、関連する個別計画との統一的な進捗管理を図っていくことにより、本計画と個別計画とを「歯車がかみ合う」ように連動させ、施策の着実・迅速な実施に繋がりたいと考えています。

とりわけ、本計画の実施に当たっては、住民に身近な市町村の役割が重要であり、県では、市町村ごとの重点健康指標の評価結果の公表や、市町村での施策推進に向けての支援等を積極的に行うこととしています。

また、健康寿命延長への取組は、市町村にとっても医療費や介護費の抑制、ひいては国民健康保険料や介護保険料の低減等が期待できることから、今後、市町村との連携を一層強化しながら積極果敢に健康寿命日本一を目指してまいりますので、皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年7月

奈良県知事 荒井正吾